

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】 S-G39

申請日 2025/9/17	承認日 2025/10/3	委員長 印
レジメン登録 2025/10/29	仮承認日	承認者 印

Pemb+FP	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
対象	Her2陰性の治癒切除不能な進行・再発胃癌の一次治療(CPS≥1)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール (日)								
			1	5	8	10	15	20	22	25	35
キイトルーダ(ペンブロリズマブ)	200mg/body	div	○								
シスプラチニ	80mg/m ²	div	○								
フルオロウラシル	800mg/m ² /day	持続点滴	○	○	○	○	○				

投与間隔・休薬期間等 : 21日 = 1コース

CDDPは6コースまで

1コース

【S-G40】 Pemb+5-FUに変更。Pembは【S-G39】より数えて35コースまで。

【投与処方例（前投薬など）】

Day1～5は、体重測定を実施。

治療開始時(1日目)より1日で0.5kg増加した際は、医師に連絡。必要に応じて検査、利尿剤を追加。

腎機能の評価のためにDay1以外にDay4、8に血液検査を実施。

必要に応じてハイドレーションを追加(採血は主治医判断)

※キイトルーダ、シスプラチニ投与時は、フルオロウラシルは止め、終了後再開する。

※フルオロウラシル24時間持続点滴について・・・ポンプの流量誤差を考慮し、適宜速度を調整する

Y側管【水色】 day1～5

- ① Y側管【水色】 生理食塩水液1000mL+フルオロウラシル /div (24時間持続点滴)

メイン day1

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div

- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート9.9mg /div 30分

- ③ メイン【赤-2】 生理食塩液50mL /div 5分

- ④ メイン【赤-3】 生理食塩液100mL+キイトルーダ /div 30分

- ⑤ メイン【白-1】 ソリタT1 500mL+硫酸マグネシウム8mL (=8mEq) /div 1時間

- ⑥ メイン【白-2】 マンニットールS注射液 300mL /div 全開(15分)

- ⑦ メイン【白-3】 生理食塩液500mL+シスプラチン /div 2時間

- ⑧ メイン【黄-1】 ラクテック500mL /div 3時間

- ⑨ 【コネクタ1】 プリンペラン注射液10mg /iv 5分

- ⑩ メイン【黄-2】 ラクテック500mL /div 3時間

メイン day2. 3. 4

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div

- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+デキサート6.6mg+プリンペラン10mg /div 30分

- ③ メイン【赤-2】 ラクテック500mL /div 3時間

- ④ メイン【赤-3】 ヴィーンD 500mL /div 3時間

- ⑤ 【コネクタ1】 プリンペラン注射液10mg /iv 5分

- ⑥ メイン【赤-4】 ラクテック500mL /div 3時間

メイン day5

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div

- ② メイン【赤】 ラクテック500mL /div 3時間
- ③ 【コネクタ1】 プリンペラン注射液10mg /iv 5分

制吐剤セット処方⑥

DMがない場合

Day1~4 オランザピン5mg 1錠(分1 夕食後)

DMがある場合はオランザピン禁忌、下記の代替薬

Day1~4 ワイパックス0.5mg 2錠 (分2 朝・夕食後)

コントミン12.5mg 1錠 (吃逆時) 10回分 1日3回内服可

【腎機能低下時の減量方法】

※シスプラチニン Ccr46~60mL/min : 75%Dose
Ccr31~45mL/min : 50%Dose
Ccr<30 : 禁忌

【副作用による減量基準】

※シスプラチニン

好中球減少 \geq G4、FN=G3、血小板減少 \geq G3(7.5万以上に回復後) 1段階減量

Scr上昇 \geq G2、耳毒性 \geq G3、感覚性ニューロパチー \geq G3は、G1以下に回復後に1段階減量

初回投与量 : 80mg/m²

1段階減量 : 60mg/m²

2段階減量 : 40mg/m²

※フルオロウラシル(5-FU)

好中球減少 \geq G4、FN=G3、血小板減少 \geq G3(7.5万以上に回復後) 1段階減量

下痢、粘膜炎、手足症候群 \geq G2は、G1に回復後に1段階減量

初回投与量：800mg/m²/日

1段階減量：600mg/m²/日

2段階減量：400mg/m²/日

参考文献：KEYNOTE-859試験

当院患者治療目的以外は
使用不可